

2010年(平成22年)5月2日(日曜日)

## 増毛山道を紹介

### 国稀酒造でパネル展

【増毛】増毛山道の会(伊達東会長)のパネル展「失われた道を辿(たど)る」が、四月二十九日午前十時から国稀酒造株式会社(米蔵ギャラリー)で始まり、観光客が山道の歴史などを学んでいる。

同会は、昭和二十年代半ばに閉ざされて使われなくなった増毛山道(石狩市内幌神社と増毛町内別刈海岸)の延長約二十八キロの復元作業に昨年か

ら取り組んでいる。今回の展示では、五千



国稀酒造の米蔵ギャラリーで始まった増毛山道の会パネル展

五層の巨大な航空写真二枚を壁と床にはり、ルート全体を紹介した。このほか、沿道の景観、同山道の休息所「武好(ぶよし)駅通」の歴史、明治二十九年の旧日本軍騎馬隊や同四十三年の輜重(しちよう)兵第七大隊が山道を走破した当時の新聞記事など約四十枚のパネルで紹介している。オープン初日、会員とともに案内役を務めた伊達会長は「今年の本ルートの岩老分岐点から岩老海岸までを結ぶ道を開削し、別刈海岸から岩老海岸までを歩けるようにしたい。完成すれば大きな観光資源になると思う」と話している。五月九日まで。